

世界の感触を取り戻せ！

— 目の見えない者は、目に見えない物を知っている

Bring Back Touch! Blind People Know the Unseen World

映画「瞽女GOZE」を通じて、盲目の女性旅芸人の「触感豊かな生き方」を紹介する。
なぜ瞽女は消滅したのか、そもそも瞽女文化とは何なのか。
瞽女唄の生演奏に耳を傾けながら、これらの問いに対する答えを参加者とともに探りたい。



瞽女

盲目とは不幸なのか？
瞽女たちがいなくなった今、
私たちは何を失ってしまったのだろうか。
「目に見えない世界」を音と声で伝える瞽女唄！
本物の瞽女唄がみんなばくで聴ける！

2021.9.23 | 木・祝 | 13:00-16:20 (開場12:30)

会場 | 国立民族学博物館 講堂 定員 | 160名 参加費 | 無料/要展示観覧券

申込 | 要事前申込 イベント申込み等の詳細についてはホームページをご確認ください。

主催 | 国立民族学博物館

※オンライン(ライブ配信)の実施はありません。
※新型コロナウイルス感染症の予防のため、イベントを変更または中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE

世界の感触を取り戻せ！ — 目の見えない者は、目に見えない物を知っている

盲目の師匠から弟子へと口伝で語り継がれてきた瞽女唄は、民衆に大きな喜びと慰めをもたらした。近代化の流れの中で、瞽女の数は減少していく。「最後の瞽女」と称される小林ハル(1900~2005)が亡くなったことにより、瞽女は日本社会から消滅し、現在はその存在を知る人も少ない。しかし、「瞽女文化」から私たちが学ぶべきものは多い。本作は小林ハルの波乱の半生を描き、「障害」の有無に関係なく、生きることの普遍的な意味を問いかける。

プログラム

- 12:30—開場
- 13:00—司会者挨拶、趣旨説明(広瀬 浩二郎)
- 13:15—映画「瞽女GOZE」上映
- 15:05—休憩
- 15:20—対談「瞽女文化と現代」& 瞽女唄演奏(萱森 直子& 斎藤 弘美)
- 16:20—終了

演奏: 萱森 直子 (瞽女唄演奏者)

「最後の瞽女」小林ハルに師事、最後の弟子となる。「かつての瞽女の芸を風土や精神性ととも再現できる現代にまれな唄い手」として高い評価を得る。後進の指導にも力を入れ、弟子たちとともに瞽女唄演奏集団「さずきもん」を立ち上げ、公演活動を展開している。映画「瞽女GOZE」では瞽女唄指導を担当。新刊「さずきもんたちの唄——弟子が語る最後の瞽女・小林ハル」(仮題、左右社)が2021年9月に出版予定。



解説: 斎藤 弘美 (「瞽女ミュージアム高田」顧問)

大学で民俗学に魅せられ、大学院で近世村落史を学ぶ。民俗学研究のテーマは「ムラと民俗」。傍ら、FM東京を出発点に、首都圏のラジオ局等「音の世界」での仕事を続ける。「瞽女」が二つのキャリアをつなげるライフワークとなり、瞽女文化発信に務める。日本大学文理学部非常勤講師。



司会: 広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館 准教授)



瞽女 GOZE

2019年/日本/日本語/109分/日本語字幕付き
監督: 瀧澤正治
プロデューサー:
戸口秋彦・瀬谷直人・阿部丈之・祝田悟志
配給: エムエフピクチャーズ
副音声解説: UDCast対応



生後3か月で失明したハルは、2歳の時に父と死別し、7歳で瞽女の師匠に弟子入りする。母は心を鬼にしてハルを厳しくしつける。そんな母の深い愛情に気づかぬまま、8歳のハルは親方とともに初めての巡業の旅に出る。数々の過酷な経験を積み、ハルは一人前の瞽女として成長する。ハルの瞽女唄に宿る強さと優しさは、彼女の人生そのものともいえる。

11月7日(日)に本映画会の関連企画として、上映会「そして瞽女はいなくなった——ドキュメンタリーで迎える盲目の女性旅芸人の実像」を開催します。1970年代に制作された3本のドキュメンタリー映像をみながら、「瞽女文化」について、さらに深く考え、語り合う企画です。小林ハル以外にも、多様で個人的な瞽女がたくさんいたことを知っていただく貴重な機会となるでしょう。詳しくはホームページをご確認ください。

お申込みについて

事前予約・定員制での開催となります。

- 定員: 160名
- 会場参加は代表者を含め2名までお申込み可能です。
- 受付期間: 8月23日(月)9:00~9月15日(水)17:00
定員になり次第受付終了

※解説時に手話通訳が必要な方は、9月2日(木)までにお申込みいただき、その旨をお知らせください。

予約状況はイベント予約サイトでご確認ください。
事前申込みをされた方には、当日11:00から本館2階講堂前にて入場整理券を配布します。
定員に満たない場合のみ当日参加を受付ます。

お申込み方法

● イベント予約サイトからのお申込み

イベント予約サイト

<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>

イベント予約サイト
QRコード



メール・電話でのお申込み(次の必要事項をお知らせください)

- ① 件名に「9月23日映画会」② 参加人数(代表者含め2名まで) ③ 氏名(漢字、フリガナ)
 - ④ 連絡先(固定電話/携帯電話/メールアドレス いずれか) ⑤ お住まいの都道府県(③~⑤は代表者のみ)
- 【申込先】企画課博物館事業係 イベント予約受付
E-mail: yoyaku-event@minpaku.ac.jp Tel: 06-6878-8210(10:00~16:00 土日祝除く)
※オンライン(ライブ配信)の実施はありません。

特別展 「ユニバーサル・ミュージアム — さわる!“触”の大博覧会」

2021.9.2 | 木 | — 11.30 | 火 | 会場 | 国立民族学博物館 特別展示館 観覧料 | 一般880円

ご来館の際は当館ホームページで最新情報をご確認ください。

国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の予防のため、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。またオンライン予約でのご来館にご協力ください。

- 開館時間…………… 10:00 ~ 17:00(入館は 16:30 まで)
- 休館日…………… 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

- 観覧料…………… 一般 580 円 / 大学生 250 円 / 高校生以下無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール… 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。
同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くこととお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※「国立民族学博物館友の会」会員の方は、万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くこととお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
企画課博物館事業係
Tel: 06-6878-8210
Fax: 06-6878-8242
<https://www.minpaku.ac.jp/>

